

夢を目指して

鹿児島大学教育学部附属小学校六年 小賤 優一郎

僕の将来の夢は、父のような研究医になることだ。

そう僕が志したのは理由がある。父は病気の子どもを自分自身で診て治療したいと思ひ、小児科医になったそう。しかし、大病院で研修医の時、色々な難病の子供達の多くが亡くなっていくことに無力感を感じ、全く新しい治療法を自分で開発する研究者の道を選んだそう。そして、

「自分一人が診て治療できる患者は限られているが、もし科学の力で画期的な新薬を開発し、ある難病が完全に治ればもっと多くの患者を救うことができる」と考えるようになったそう。父は癌を治す薬を發明し、現在大学で実際の患者さんに投与する「治験」を行っている。このニュースを知った患者さん方が父に手紙を下された。その患者さん方の苦しみを知った時、僕も父みたいに本当に苦

しむ人の役に立ちたいと思った。では、僕は今、何をすればいいのか。

一つ目は勉強だ。好きな科目の勉強は苦ではないが、難しい問題もある。でも大きな壁を乗り越えて、答えを導き出すことは、とても大事な事だ。そして授業等で意見を言い、友達と議論することだ。将来患者さんを診る時に大きな力になるはずだ。

二つ目は「心を育てる」だ。

父はいつも患者さんの立場になって考えている。僕も学校生活の中で、係の仕事をする責任、友達や下級生みんなの事を考える「思いやり」、そして学校に通う際、沢山の地域の方や電車の運転手さん、先生方への感謝の気持ち等々を持ちながら、心を育まないといけない。

三つ目が英語力だ。父を見ていても、よく海外の人達とテレビ電話で会議をしている。自分の考えや思いを正確に伝え

るためにも、英語力は絶対に必要だ。本当は、もっと沢山のことが必要なはずだ。しかし、まずは出来ることから一歩一歩実行していかなければならない。では「出来ること」とは何か。それは、学校生活やその他の生活の中で精一杯、力を尽くすことのように思う。毎日を大事に、力の限り頑張りたいと思う。

小賤 優一郎 のライフプラン

将来なにになりたいか？ 父みたいな教授になり、研究医として新薬開発
その理由： 難病に苦しむ人達を救いたから。

夢をかなえるまでのスケジュール

西暦(年)	年齢(学年)	夢をかなえるために努力すること	努力するために、なににお金がかかりそうか
2018年	12(小6)		塾の月謝
2019年	13(中1)	夢に向かって勉強!! 小学校卒業、中学校入学	入学金+授業料
2020年	14(中2)	∴	授業料
2021年	15(中3)	∴	∴
2022年	16(高1)	∴ アフリカに短期留学	∴
2023年	17(高2)	∴ 英検1級	∴
2024年	18(高3)	大学(医学部医学科)に向けて受験勉強	∴
2025年	19(大1)	高校卒業、医学部医学科に入学 TOEIC L&R 750 突破	入学金+授業料
2026年	20(大2)	アメリカに短期留学	授業料+留学費
2027年	21(大3)	弁護士の勉強もする	授業料
2028年	22(大4)	∴	∴
2029年	23(大5)	司法試験に合格	∴
2030年	24(大6)	医師国家試験の勉強に専念	∴
2031年	25	研修医、大学院生	入学金+授業料
2032年	26		授業料
2033年	27	アメリカに留学	留学費+授業料
2041年	35	教授就任	